

第2部会（まちづくり部会）

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の達成状況等一覧(第3期実施計画総括評価)(第2部会)

※1 [%] ⇒ 指標の単位
[^] ⇒ ^ : 数値が高いことが望ましい指標
 v : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒ 増減 : 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持 : 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)	成果指標	成果指標の達成状況等													施策の達成状況							R7予算 (百万円)	第3期 実績 計画 (真)			
					目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	R6年度	第3期 目標値 (R7年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	R6年度 達成度	第3期総括 達成度	1期 中間	1期 総括	2期 中間	2期 総括	3期 中間	仮判定 (R7年度)			3期 総括		
(財) 国土・まちづくり部会	1-2-3	ユニバーサルデザインの まちづくりの推進 (誰もが訪れやすく暮らし やすい「ユニバーサルデザ インのまち」にする)	●ユニバーサルデザインのまちづくりやソフト・ハードの両面からのバリアフリーの取組の推進 ●鉄道駅におけるホームドアの整備促進など、誰もが安全・安心に利用できる交通環境の形成に向けた取組の推進	(1)	バリアフリー化すべき重要な特定の道路の整備割合	目標値				100	100	100	100	100	%	↑ 増減	b	b	b	R8.9填判明	C	B	A	A	A	B	B	261	169
				実績値	35	58	96	98.8	98.8	98.8	R8.9填判明																		
				(2)	市内法人タクシーに占めるユニバーサルデザインタクシーの割合	目標値				14	18	21	25	25	%	↑ 増減	a	a	a	確認中									
				実績値	2.5	2.8	14.3	19	24	31	確認中																		
				(3)	誰もが安全・安心に公共的施設を利用できると感じる人の割合	目標値				-	50	-	50	50	%	↑ 維持	-	a	-	b									
				実績値	49.1	46.1	46.8	-	51.09	-	49																		
				(4)	駅利用者10万人以上の駅等におけるホームドア等の累計整備番線数	目標値				24	30	34	36	36	番線	↑ 増減	b	b	b	b									
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	20	20	26	31	34																		
	1-2-4	地域の生活基盤となる道路等の維持・管理 (誰もが安全、快適に道路を利用できる)	●予防保全の考え方による計画的な維持管理の推進 ●持続可能で効率的な維持管理による施設等の長寿命化の推進 ●道水路の効率的な管理や災害復旧等に寄与する道水路台帳平面図等管理・閲覧システムの機能向上の推進	(1)	道路施設の健全度	目標値				96	97	98	98	98	%	↑ 増減	a	a	a	a	B	B	B	A	A	A	A	10,529	172
				実績値	73	82	92	96	97	98	98																		
				(2)	地籍調査等で得た道路等の座標値を道水路台帳平面図等管理・閲覧システムに搭載した累計点数	目標値				14,500	29,000	43,500	58,000	58,000	点	↑ 増減	a	a	a	a									
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	19,000	30,870	44,870	59,870																		
				(3)	不法占拠解消の累計件数	目標値				730	810	890	970	970	件	↑ 増減	b	b	b	b									
				実績値	90	277	523	617	658	710	771																		
				(4)	不法占拠者への指導の年間実施回数	目標値				500	500	500	500	500	回	↑ 増減	a	a	a	a									
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	264	537	510	589	625																		
	1-3-1	安定給水の確保と安全性の 向上 (安全でおいしい水を安定的に供給する)	●老朽化した水道施設・管路の更新及び耐震化の推進 ●大規模災害に備えた応急給水拠点の整備及び更なる利便性の向上の推進 ●良質で安全な水の安定供給に向けた水質管理の徹底 ●主要な工業用水道施設の耐震化・浸水対策の推進及び長期的需要動向を踏まえた施設・管路の将来構想の検討	(1)	重要な管路の耐震化率	目標値				100	100	100	100	100	%	↑ 増減	b	b	b	R8.8填判明	B	A	A	A	A	B	B	20,524	176
				実績値	70.6	79.6	93.1	97.9	98.2	98.3	R8.8填判明																		
				(2)	管路の耐震化率	目標値				40.1	41.7	43.3	44.9	44.9	%	↑ 増減	a	a	a	R8.8填判明									
				実績値	第2期から設定	30.2	36.7	40.8	42.7	44.1	R8.8填判明																		
				(3)	災害時の確保水量	目標値				16.5	16.5	16.6	16.6	16.6	万m ³	↑ 増減	a	a	b	b									
				実績値	2.8	10.7	16.4	16.5	16.5	16.5	16.5																		
				(4)	開設不要型応急給水拠点の整備率	目標値				84	100	100	100	100	%	↑ 増減	a	b	b	b									
				実績値	7.6	17.4	55.2	85.1	98.9	99.4	99.4																		
					(5)	工業用水道の浄水場等連絡管整備率	目標値				-	-	33.3	100	100	%	↑ 増減	-	-	b	b								
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	-	-	0	0																	

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の達成状況等一覧(第3期実施計画総括評価)(第2部会)

※1 [%] ⇒ 指標の単位
[^] ⇒ ^ : 数値が高いことが望ましい指標
 v : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒ 増減: 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持: 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)	施策の概要 (施策の方向性)	成果指標	成果指標の達成状況等															施策の達成状況							R7予算 (百万円)	第3期 実績 計画 (真)
				目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 総括 (R5年度)	R6年度	第3期 総括 (R7年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	R6年度 達成度	第3期総括 達成度	1期 中間	1期 総括	2期 中間	2期 総括	3期 中間	仮判定 (R7年 度)	3期 総括			
第2部会 (まちづくり部会)	1-3-2 下水道による良好な循環機能の形成 (地域の安全と環境を守り、きれいな水を川崎の川と海に返す)	●下水道の管きよ・施設の地震対策の推進 ●重点化地区や令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた局地的な浸水対策等の推進 ●水処理センターの高度処理化の推進 ●下水道法施行令への対応に向けた合流式下水道の改善 ●下水道の管きよ・施設の老朽化対策の推進 ●下水道事業における地球温暖化対策の推進	(1) 重要な管きよの耐震化率(市内全域)	目標値 実績値					87.7	88.4	89.1	89.7		% 増減	a	a	a	確認中									
			(2) 重要な管きよの耐震化率(川崎駅以南の地域)	目標値 実績値					100	100	100	100	100	% 増減	a	a	a	a									
			(3) 重要な管きよの耐震化率(川崎駅以北の地域)	目標値 実績値					14.3	19	23.7	28.4	28.4	% 増減	a	a	a	確認中									
			(4) 避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きよの耐震化率	目標値 実績値					71.9	77.6	83.3	89	89	% 増減	a	a	a	確認中									
			(5) 浸水対策実施率(丸子、宮崎、大師河原、馬絹、久末地区)	目標値 実績値					100	100	100	100	100	% 増減	a	a	a	a									
			(6) 浸水対策実施率(三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区)	目標値 実績値					29.3	32.1	35.3	40.8	40.8	% 増減	b	a	a	確認中	A	A	B	A	A	A	A	20,700	
			(7) 排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数【令和元年東日本台風当日の床上浸水面積に対する解消率(想定)】	目標値 実績値					6[65.2%]	7[65.2%]	7[65.2%]	7[65.2%]	7[65.2%]	対策 増減	a	a	a	確認中									
			(8) 合流式下水道改善率(雨天時に川や海に処理しきれない下水が放流されることへの対策)	目標値 実績値					73.5	100	100	100	100	% 増減	a	b	b	b									
			(9) 高度処理普及率	目標値 実績値					59.3	59.3	100	100	100	% 増減	a	a	b	確認中									
			(10) 管きよ再整備率(管きよ再整備重点地域)	目標値 実績値					36.9	37.7	39	39.8	39.8	% 増減	a	a	a	確認中									
			(11) 温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)	目標値 実績値					-22.7	-24.2	-25.9	-27.7	-27.7	% 増減	a	b	a	R8.7頃判明									
3-1-1	地球環境の保全に向けた取組の推進 (地球温暖化による市民生活などへの影響を減らす)	●脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」等を踏まえた、新たな「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」に基づく、脱炭素社会の実現に向けた取組の推進 ●地球温暖化に起因する異常気象等に対応する、気候変動適応策の取組の推進	(1) 市域の温室効果ガス排出量の削減割合【1990年度比】	目標値 実績値					-22.1	-23.4	-24.7	-26	-26	% 増減	a	a	a	a									
			(2) 市域の温室効果ガス排出量の削減割合【2013年度比】	目標値 実績値					-8.5	-10	-11.6	-13.1	-13.1	% 増減	a	a	a	a									
			(3) 市役所の温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比)	目標値 実績値					-10.9	-13.2	-15.6	-18.5	-18.5	% 増減	c	b	a	R8.7頃判明	B	B	B	B	A	A	A	2,656	
			(4) 市域の再生可能エネルギー導入量	目標値 実績値					21	21.6	23.5	24.3	24.3	万kW 増減	a	a	a	a									
			(5) 市民や市内の事業者による環境に配慮した取組(省エネなど)が進んでいると思う市民の割合	目標値 実績値					-	29	-	30	30	% 増減	-	a	-	a									
3-2-1	地域環境対策の推進 (空気を水などの地域環境を守る)	●環境基準等の達成維持に向けた、環境関連法や市条例に基づく取組の着実な実施 ●更なる環境負荷の低減と環境に関する市民実感の向上をめざした「大気・水環境計画」に基づく、多様な主体と連携した取組や事業者の自主的な取組等の推進	(1) 光化学スモッグ注意報の発令日数	目標値 実績値					0	0	0	0	0	日 増減	b	b	d	b									
			(2) 光化学オキシダント環境改善評価指標値	目標値 実績値					0.0105	0.0105	0.0105	0.0105	0.0105	ppm 維持	a	a	a	R8.7頃判明									
			(3) 二酸化窒素の環境基準を達成した測定局の割合【0.06ppmを達成した割合】	目標値 実績値					100	100	100	100	100	% 増減	a	a	a	R8.7頃判明	A	B	C	B	A	A	A	363	
			(4) 二酸化窒素の環境基準を達成した測定局の割合【0.04ppmを達成した割合】	目標値 実績値					55.6	55.6	72.2	72.2	72.2	% 増減	a	a	a	R8.7頃判明								310	
			(5) 「きれいな水」の指標魚種の生息地点割合	目標値 実績値					75	75	100	100	100	% 増減	a	a	a	確認中									
			(6) 河川のBOD、運河部のCODの環境基準値適合割合	目標値 実績値					100	100	100	100	100	% 維持	a	a	a	R8.7頃判明									

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の達成状況等一覧(第3期実施計画総括評価)(第2部会)

※1 [%] ⇒ 指標の単位
 [^] ⇒ ^ : 数値が高いことが望ましい指標
 v : 数値が低いことが望ましい指標
 [増減] ⇒ 増減 : 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持 : 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)	施策の概要 (施策の方向性)	成果指標	成果指標の達成状況等													施策の達成状況							R7予算 (百万円)	第3期 実績 計画 (真)							
				目標値 実績値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	R6年度	第3期 総括 (R7年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	R6年度 達成度	第3期総括 達成度	1期 中間	1期 総括	2期 中間	2期 総括	3期 中間	仮判定 (R7年 度)			3期 総括						
第2部会（まちづくり部会）	3-2-2	持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進 (廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進める)	●市民・事業者・行政の協働によるごみの減量化・資源化の推進 ●安定性・安全性を確保した効率的・効果的な廃棄物処理事業の推進 ●脱炭素化に向けたプラスチック資源循環の推進	(1)	1人1日あたりのごみ排出量	目標値				898	886	879	872	872	g	↘	a	a	a	R6.6確判明												
				実績値	998	947	902	858	820	793	R6.6確判明		増減	a	a	a	R6.6確判明	A	A	A	B	A	A	A	13,660	313						
				(2)	ごみ焼却量(1年間)	目標値				35.26	34.5	33.75	32.99	33	万t	↘	a	a	a	R6.6確判明												
				実績値	37.1	36.6	35.8	34.01	32.61	31.51	R6.6確判明		増減	a	a	a	R6.6確判明															
				(3)	プラスチック製容器包装の分別率	目標値				39.7	40.6	41.6	45	45	%	↗	a	b	b	R6.6確判明												
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	37.8	40.5	40.5	41.4	R6.6確判明		増減																			
	3-3-1	協働の取組による緑の創出と育成 (多様な主体との協働、連携により緑を育む)	●多様な主体との協働によるグリーンコミュニティ形成に向けた取組の一層の推進 ●緑化フェアを契機とした多様なみどりを活用した安心で心豊かな暮らしの実現に向けた取組の推進	(1)	緑のボランティア活動の累計が所数	目標値				2,427	2,435	2,442	2,450	2,450	か所	↗	c	c	c	R6.6確判明												
				実績値	2,355	2,321	2,304	2,284	2,271	2,200	R6.6確判明		増減	c	c	c	R6.6確判明	B	B	B	B	C	C	C	990	319						
				(2)	市民150万本植樹運動による累計植樹本数	目標値				127	138	150	-	150	万本	↗	b	b	b	b												
				実績値	61	80	110	125	136	143	R6.6確判明		増減	b	b	b	b															
				(3)	緑の活動に取り組んでみたい、又は取り組んだことのある人の割合	目標値				-	71	-	75	75	%	↗	-	c	-	c												
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	67.4	-	62	-	64.2		増減																			
	3-3-2	魅力ある公園緑地等の整備 (豊かな市民生活を実現するため、都市に緑と水のオープンスペースを創出する)	●公園緑地の立地特性や地域ニーズ等を踏まえた、都市の価値を高め、魅力ある公園緑地づくりの推進 ●まちの賑わいの向上に向けた、民間活力の導入などによる大規模公園緑地の整備推進 ●予防保全型の維持管理など公園施設の適切な維持管理の推進 ●公園緑地の柔軟かつ多様な利活用や持続可能な管理運営に向けたパークマネジメントの推進	(1)	1人あたりの公園緑地面積	目標値				5	5	5	5	5	m ² /人	↗	b	b	b	R6.6確判明												
				実績値	5	5	4.9	4.93	4.93	4.99	R6.6確判明		維持	b	b	b	R6.6確判明															
				(2)	公園緑地の整備・管理状況についての満足度	目標値				-	64	-	65	65	%	↗	-	b	-	b												
				実績値	第3期から設定	61.4	63.4	-	61.4	-	61.4		増減																			
				3-3-3	多摩丘陵の保全 (市域に残された緑地、里山を再生・保全し、次世代に継承する)	●さまざまな制度を活用した緑地保全の取組の推進 ●市民等による効果的な緑地・里山の保全や、保全緑地の多様な利活用の一層の推進	(1)	緑地保全面積	目標値				285	290	295	300	300	ha	↗	b	b	b	b									
							実績値	232	241	251	253	253	253	253		増減	b	b	b	b												
	(2)	企業・教育機関等の参加による保全活動累計が所数	目標値							7	8	8	9	9	か所	↗	b	b	a	a	A	B	B	B	B	A	A	763	328			
	実績値	4	4				5	5	6	8	9		増減																			
	(3)	市民が利用できる緑地の累計が所数	目標値							30	30	31	32	32	か所	↗	a	a	a	a												
	実績値	第3期から設定	26				30	30	31	31	32		増減	a	a	a	a															
	3-3-4	農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進 (多面的な役割を果たしている貴重な農地を市民とともに継承する)	●多面的な機能を有する都市農地の保全・活用に向けた取組の推進 ●農地の利用意向把握や利用権設定等の促進による農地の利用集積・集約化の推進 ●多様な主体との連携による、市民が「農」に触れる場の提供促進 ●都市農業に対する理解の促進に向けた効果的なPRの実施	(1)	生産緑地の年間新規指定面積	目標値				12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	m ²	↗	a	c	d	d												
				実績値	12,000	10,528	14,260	17,500	8,220	4,330	4,600		維持	a	c	d	d															
				(2)	防災農地の年間新規登録数	目標値				8	8	8	8	8	か所	↗	a	a	a	a												
				実績値	7	11	17	18	19	19	11		増減	a	a	a	a															
				(3)	市民農園等の累計面積	目標値				106,500	108,000	109,500	111,000	111,000	m ²	↗	b	b	b	確認中	B	B	A	A	B	B	B	43	331			
				実績値	73,790	98,961	85,786	87,117	91,978	96,738	確認中		増減	b	b	b	確認中															
				(4)	利用権設定等の集積面積	目標値				9.1	9.4	9.7	10	10	ha	↗	a	a	a	確認中												
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	8.7	11.3	11.5	13.2	確認中		増減	a	a	a	確認中															
				(5)	都市農業に対する関心度	目標値				-	57	-	59	59	%	↗	-	c	-	b												
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	54.8	-	54.4	-	56.7		増減	-	b	-	b															
				3-3-5	多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進 (多くの市民が「楽しい」「遊び」「学ぶ」多摩川の魅力を高める)	●民間活力の導入など多摩川の利活用による賑わいの創出に向けた取組の推進 ●市民との協働や流域自治体等との連携による多摩川の魅力向上に向けた取組の推進	(1)	多摩川を利用したことがあり、魅力を感じる人の割合	目標値				-	43	-	45	45	%	↗	-	b	-	b									
実績値							37.7	40.1	43.5	-	38.47	-	38.71		増減	-	b	-	b													
(2)	渡し場イベントの参加者数	目標値							4,900	5,300	5,700	6,000	6,000	人	↗	d	d	b	確認中	A	B	B	B	B	B	B	237	334				
実績値	第3期から設定	2,400	500				2,000	1,000	2,700	確認中		増減	d	d	b	確認中																
(3)	多摩川におけるイベントの参加者満足度	目標値							89	91	93	95	95	%	↗	a	a	a	確認中													
実績値	第3期から設定	第3期から設定	87.4				93	93	94	確認中		増減	a	a	a	確認中																
4-5-1	魅力にあふれた広域拠点の形成 (川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める)	●川崎駅周辺地区における川崎の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備の推進と賑わいの創出等に向けた取組の推進 ●小杉駅周辺地区におけるコンパクトに集積した都市機能の誘導と賑わい等の創出、安全性・利便性の向上に向けた交通基盤の強化の推進 ●新百合ヶ丘駅周辺地区における周辺環境等の変化を見据えた土地利用転換の誘導と交通結節機能の強化に向けた取組の推進	(1)	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅周辺人口	目標値				14.2	14.3	14.4	14.5	14.5	万人	↗	a	a	a	a													
			実績値	12.6	13.1	14.1	14.2	14.4	14.6	14.7		増減	a	a	a	a																
			(2)	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員	目標値				58.8	59.1	59.4	59.8	59.8	万人/日	↗	c	c	c	b	A	A	A	A	A	B	B	1,085	396				
			実績値	52.4	56.4	41.9	43.8	47.8	50.9	52.9		増減	c	c	c	b																
			(3)	拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思ふ人の割合	目標値				-	68.9	-	70	70	%	↗	-	b	-	b													
			実績値	第3期から設定	第3期から設定	67.7	-	68.4	-	69.9		増減	-	b	-	b																

施策・成果指標の達成状況等一覧(第3期実施計画総括評価)(第2部会)

※1 [%] ⇒ 指標の単位
[^] ⇒ ^ : 数値が高いことが望ましい指標
 \ : 数値が低いことが望ましい指標
[増減] ⇒ 増減 : 現在の水準から増加又は減少させていく指標
 維持 : 水準を維持していく指標

部会	施策名 (直接目標)		施策の概要 (施策の方向性)		成果指標		成果指標の達成状況等														施策の達成状況							R7予算 (百万円)	第3期 実績 計画 (百万)
							目標値	第1期 策定時値	第2期 策定時値	第3期 策定時値	R4年度	第3期 中間 (R5年度)	R6年度	第3期 総括 (R7年度)	第3期 目標値 (最終目標)	指標の補足説明 ※1	R4年度 達成度	R5年度 達成度	R6年度 達成度	第3期総括 達成度	1期 中間	1期 総括	2期 中間	2期 総括	3期 中間	仮判定 (R7年度)	3期 総括		
第2部会 (まちづくり部会)	4-5-2	個性を活かした地域生活拠点等の整備 (新川崎・鹿島田・溝口・鷺沼・宮前平・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺の魅力を高める)	●利便性が高く多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積や交通結節機能の強化などをめざした市街地再開発事業等による地域生活拠点の整備 ●地域特性に応じた多様な主体との連携による鉄道沿線まちづくりの推進と身近な駅周辺等の整備	(1)	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅周辺人口	目標値				18.7	19	19.3	19.6	19.6	万人	↗	a	a	a	a									
				実績値	17.5	18	19.2	19.3	19.4	19.5	19.7		増減	c	c	c	c	A	A	A	A	B	B	B	3,142	400			
				(2)	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅平均乗車人員	目標値				49.6	49.8	49.9	50	50	万人/日	↗													
	4-6-1	安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進 (都市環境と調和した暮らしやすく魅力的な都市空間を創出する)	●激甚化・頻発化する自然災害の発生や少子高齢化の進展など社会環境の変化を踏まえた持続可能で計画的なまちづくりの推進 ●脱炭素社会や持続可能なまちの実現に向けた、良好な市街地環境の形成や環境に配慮した建築物の普及促進	(1)	新築される建築物のうち、環境に配慮した建築物の割合	目標値				21.5	22	22.5	23	23	%	↗	a	a	a	確認中	B	B	A	A	A	A	A	3,709	405
				実績値	17	21	19.3	22.2	22.3	22.6	確認中		増減	a	a	a	a												
				(2)	市街地開発事業等の制度を活用した取組の累積件数	目標値				12	12	13	13	13	件	↗	a	a	a	a									
	4-6-2	地域の主体的な街なみ形成の推進 (機能的で美しく、住んでいてこちよい街なみを創出する)	●景観をめぐる社会環境の変化に対応した個性と魅力あふれる良好な都市景観形成の推進 ●良好な住環境形成に向けた住民発意の地区まちづくり活動への支援の推進	(1)	「景観計画」等に位置づけられる景観形成基準が遵守されている割合	目標値				33.5	36	38.5	41	41	%	↗	b	b	b	確認中	A	A	A	A	A	B	B	6	408
				実績値	15.5	20.1	28.6	33.4	35.3	37.8	確認中		増減	a	a	a	a												
				(2)	「地区まちづくり育成条例」に基づく登録・認定団体の累計件数	目標値				26	28	30	32	32	件	↗	a	a	a	確認中									
	4-7-1	広域的な交通網の整備 (首都圏における円滑な交通網を整える)	●鉄道事業者や周辺自治体等との連携による鉄道ネットワークの形成に向けた取組の推進 ●本市の都市機能の強化などに資する広域的な道路ネットワークの形成に向けた取組の推進	(1)	都市拠点から羽田空港までの平均所要時間	目標値				-	-	-	⇒	35※	分	↘	-	-	-	-	B	B	A	A	A	A	A	1,000	411
				実績値	44	45	45	-	-	-	-		増減	a	a	a	R8.8確判明												
				(2)	JR南武線の最混雑時間帯における混雑率	目標値				180	180	180	180	180	%	↘	a	a	a										
	4-7-2	市域の交通網の整備 (自動車での市内交通を円滑化する)	●地域特性を踏まえた交通環境の改善や事業効果の早期発現に資する効果的・効果的な幹線道路等の整備の推進 ●今後の社会変容等も踏まえた都市交通の円滑化や地域分断の解消、地域資源を活かした沿線まちづくりと連携した連続立体交差事業の計画的な推進	(1)	都市計画道路進捗率	目標値				69	70	70	71	71	%	↗	a	b	b	b									
				実績値	68	-	69	69	69	68	68		増減	-	-	-	-	B	B	B	B	B	B	C	12,382	414			
				(2)	市内幹線道路における混雑時(朝夕ピーク時)の平均走行速度	目標値				-	-	-	17.8	17.8	km/h	↗													
	4-7-3	身近な交通環境の整備 (地域の人々が生活しやすい交通環境を整える)	●効率的・効果的な路線バスネットワークの形成に向けた取組の推進 ●多様な主体等との連携や新技術・新制度を含むさまざまな運行手法の活用によるコミュニティ交通の導入促進等に向けた取組の推進 ●安全・安心でまちの魅力向上等に寄与する自転車活用等の推進	(3)	JR南武線連続立体交差事業に係る用地買収の進捗率	目標値				-	-	-	25	25	%	↗	-	-	-	b									
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	0	-	-	-	4		増減																
				(1)	市内全路線バスの乗車人員数(1日平均)	目標値				33.2	33.5	33.7	34	34	万人	↗	a	b	c	c									
	4-7-4	市バスの輸送サービスの充実 (安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する)	●利用実態を踏まえた事業規模への適正化に向けた取組の推進 ●輸送安全性の確保やお客様サービス、移動空間の快適化に向けた取組の推進	(2)	コミュニティ交通の利用者総数	目標値				11.8	12	12.3	12.5	12.5	万人	↗	c	b	b	確認中	B	B	A	A	B	C	C	613	418
				実績値	第3期から設定	第3期から設定	10.9	10.4	11.3	11.6	確認中		増減	a	b	b	c												
				(3)	自転車に関わる交通事故件数	目標値				960	940	920	900	900	件	↘	a	b	b	c									
	4-7-4	市バスの輸送サービスの充実 (安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する)	●利用実態を踏まえた事業規模への適正化に向けた取組の推進 ●輸送安全性の確保やお客様サービス、移動空間の快適化に向けた取組の推進	(1)	有責事故発生件数(走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数)	目標値				0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	件	↘	b	a	c	R8.8確判明									
				実績値	0.29	0.38	0.4	0.3	0.25	0.37	R8.8確判明		維持																
				(2)	お客様満足度	目標値				69	70	71	72	72	%	↗	c	b	a	b	B	B	B	B	B	B	B	4,915	422
	4-7-4	市バスの輸送サービスの充実 (安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する)	●利用実態を踏まえた事業規模への適正化に向けた取組の推進 ●輸送安全性の確保やお客様サービス、移動空間の快適化に向けた取組の推進	(3)	市バスの乗車人数(1日平均)	目標値				11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	万人	↗	a	a	a	R8.8確判明									
				実績値	12.79	13.09	12.9	12	11.6	11.6	R8.8確判明		増減																

※掲載している数値や区分等については、現時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

参考：内部評価の考え方

- 1 施策評価については、成果指標の達成度に応じて点数をつけており、施策内の各成果指標の達成度を平均して、施策の進捗状況を計算し、A、B、C、Dを「仮判定」する。
- 2 「仮判定」の結果やその他の定性的な成果等を総合的に踏まえて、各担当局で達成度を「判定」している。

指標の達成度と施策の進捗状況区分

指標 達成度	区分の説明
a	目標値以上
b	1期実施計画の現状値(又は個別設定値)以上～目標値未満
c	目標達成率60%以上～1期実施計画の現状値(又は個別設定値)未満
d	目標達成率60%未満



施策 進捗状況区分	区分の説明
A. 順調に推移している	目標を達成している
B. 一定の進捗がある	一定の進捗がある (目標達成に向けて進捗している)
C. 進捗が遅れている	進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)
D. 進捗は大幅に遅れている	進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)

仮判定の計算例

	令和5年度						施策達成度仮判定
	a	b	c	d	合計	平均点	
	3点	2点	1点	0点			
指標の達成数の数	2	0	1	0	3	2.333	B
指標の点数	6	0	1	0	7		

施策の達成度	指標の達成度の平均点
A 順調に推移している	3以下～2.5以上
B 一定の進捗がある	2.5未満～1.5以上
C 進捗が遅れている	1.5未満～0.5以上
D 進捗は大幅に遅れている	0.5未満